



熊本県版

No. 249

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水
1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
 - 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
 - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

「軍隊の本性」、むき出し

自衛隊健軍駐屯地の「地下化」

岸田自公政権は憲法違反の「敵基地攻撃能力の保有」について「安保3文書」の改定を「閣議決定」だけで勝手に決め、そのために向こう5年間で43兆円もの軍事費を投入するなどすさまじい勢いで大軍拡路線を突っ走っています。

そしてその一環として全国300の自衛隊基地の「強靱化」、とりわけ陸上自衛隊西部方面総監部（九州・沖縄の陸上自衛隊の総司令部）がある健軍駐屯地など重要司令部がある基地は「地下化」する計画を公表しました。

これは自衛隊基地が相手国のミサイル攻撃の標的にされる現実的な危険性があることを自衛隊自身が認めたものであり、

さらにそれによって熊本市街を含む基地周辺地域が焼け野が原になって市民がどうなるうとも、自衛隊の司令部だけは生き残って戦争指揮を執り続けることを想定していることを示すものです。

先の第二次世界大戦末期、日本政府と軍部は、「本土決戦」を呼号しながら、皇居や大本営だけは生き残るために長野県の松代地区に巨大な「地下司令部」（松代大本営）を建設しようとした（完成しないまま敗戦）が、今回の「自衛隊司令部の地下化」はそれと共通する発想であり、まさに「軍隊の本性」むき出しと言わざるを得ません。

戦力不保持、交戦権否認、戦争放棄を宣言した憲法9条をもつ日本でそのようなことは絶対に許されません。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」をかかげる治安維持法 国賠同盟として岸田自公政権の大軍拡・大増税を許さないためにいっせい地方選挙では平和と暮らしを守る政党と候補者の勝利のために全力をつくしましょう。

いっせい地方選挙迫る

大軍拡・大増税を許さず

いのち・くらし・福祉まもる政治を

いよいよ、いっせい地方選挙が目前に迫ってきました。

県議選と政令市議選（熊本市）が3月31日告示、4月9日投票、一般市長・市議選が4月16日告示、23日投票、町村長選と町村議選が4月18日告示、23日投票です。

今回のいっせい地方選は十年に及ぶアベノミクスの破綻とロシアのウクライナ侵略などによる諸物価やエネルギー価格

の高騰などで日本経済や国民生活が危機に追い詰められている中でたたかわれます。

同時に国民が生活苦にあえいでいるときに岸田自公政権がロシアや中国、北朝鮮の暴挙を口実に憲法違反の「敵基地攻撃能力」の保有、そのために向こう5年間で軍事費に43兆円もの途方もない予算をつぎ込み、国民に大増税を押し付けようとしている中での選挙となります。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」「平和と人権が守られる21世紀」を目指して闘ってきた治安維持法国賠同盟はこの選挙を、大軍拡・大増税を許さず、いのち・くらし・福祉を守る政治実現の闘いと位置づけ、全力でたたかいます。

とくにいっせい選挙では、県内でも多くの国賠同盟会員が立候補します。それぞれの地で同盟会員の当選のために全力で応援しましょう。

〈立候補を予定している同盟会員〉

県議・熊本市第1区 山本のふひろ(現)

熊本市議・中央区 上野みえ子(現)

同・東区 いせり栄次(新)

同・北区 やまへひろし(元)

水俣市議 高岡朱美(現)

同 平岡 朱(現)

人吉市議 本村れいと(現)

同 川上さち子(新)

荒尾市議 北園としみつ(現)

合志市議 はまもと幸一郎(現)

小国町議 児玉ともひろ(現)

多良木町議 久保田たけはる(現)

益城町議 甲斐やすゆき(現)

1・2月地方議員選挙

阿蘇市 竹原祐一議員(3期目)

甲佐町 井芹しま子議員(4期目)

甲佐町 佐野安春議員(3期目)

国賠同盟会員の候補者、全員当選!

1月、2月に行われた地方議員選挙に立候補した3人の国賠同盟会員の候補者は全員当選することができました。

1月22日告示、29日投票の阿蘇市議選(定数18)で、

竹原祐一候補(現)は368票を獲得し、16位で3期目の当選を果たしました。

2月7日告示、12日投票予定の甲佐町議選には井芹しま子候補(現)と佐野安春候補(現)の2人が立候補。前回より定数が1減らされて定数11となり、少数激戦が予想されましたが、立候補者が定数と同数の11人で、全員無投票当選となりました。それにより井芹しま子議員は4期目、佐野安春議員は3期目の当選となりました。



国会請願署名、一人20筆をやり切ろう！

国会請願行動は毎年5月です。まだ日程は決まっていますが、毎年5月の連休明けに最終集約し、代表派遣者に署名用紙を託しています。残りの期間は2か月となりました。

県本部総会で決めた国会請願署名の目標は5000筆、会員一人一人が20筆やりきることを目標としました。県本部に届いた署名数は450筆、まだ目標の1割にも届いていません。

今後、協力団体からの回収も進みますが、会員一人一人の取り組みがカギを握っています。まずは家族から、また遠方の知人でも電話で趣旨に賛同していただくこともできるのではないのでしょうか。

ちようど統一地方選挙の真っ最中になりますが、支持を呼びかけた方にぜひ一筆呼びかけてください。

締め切りは4月末をめどにしています。たとえば5筆満杯にならなくても、1筆でも無駄にできませんので県本部に届くようによくお願いします。

県本部事務局

あの年のこと

— 今年 は 2023 年 —

1923年(100年前) 関東大震災

未曾有の天災だが、その裏で多くの朝鮮人が虐殺され、
 亀戸事件(共青团、川合義虎ら10人)、甘粕事件(大杉栄、伊藤野枝ら3人) 権力により虐殺される。

1928年(95年前) 3・15事件

治安維持法による最初の共産党弾圧事件。全国で1600人余り検挙される。熊本でも数十人検挙され、永村徳次郎は激しい拷問の末3年6か月の実刑を受ける。

1933年(90年前) 熊本共産党事件

前年の熱海事件以降の共産党への弾圧で28610人検挙、この2年間で小林多喜二をはじめ西田信春、岩田義道ら多くの先覚者が虐殺されている。熊本でも山口隆喜ら140人が検挙された熊本共産党事件、田代官次ら14人が検挙された新興教育運動事件など170人がこの年検挙されている。

そのほか、

1908年 田添鉄二死去(没後115年)

1938年 永村徳次郎死去(没後85年)